

9 風しん 三日はしか

1 病原体名

風しんウイルス

2 年齢層

成人

3 潜伏期間

2～3週間

4 症状とケア

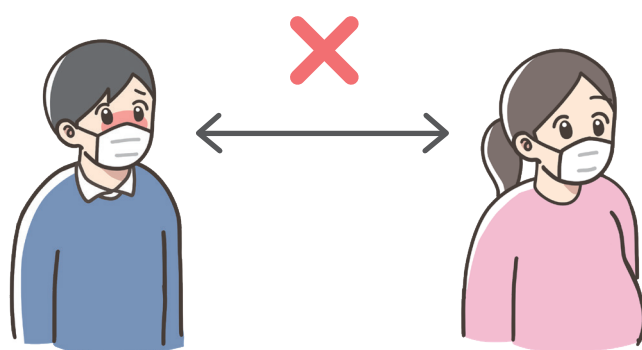
- ☑ 発熱、全身の発しん、耳の後ろや後頭部、頸部^{けい}などのリンパ節のはれが現れます。麻しんに似た発しんが現れますが、短期間で治るため、「3日はしか」とも呼ばれます。
- ☑ 発しんが消失するまで、学校へは出席停止です。
- ☑ 妊娠初期（20週頃まで）の妊婦が感染すると、流産や死産したり、目や耳、心臓に重い障害のある赤ちゃんが生まれる場合があります（先天性風しん症候群）。

5 診断と治療

- ✔ 症状や血液検査などから診断します。診断後は保健所が感染経路やまわりの人への拡がりについて調査します。
- ✔ 特別な治療方法はなく、対症療法を行います。

6 家庭に持ち込まないために

- ✔ 感染経路は飛まつ感染です。周囲へ感染させる期間は、発しんが出る前後の1週間程度です。
- ✔ 唯一の予防方法は予防接種です。麻しん・風しんの混合ワクチンを、1歳と小学校入学の前年の2回、定期接種で受けることが重要です。
- ✔ 1995年以前生まれの方は、2回の予防接種が行われておらず、抗体価が低い場合があるため、ワクチン接種を検討しましょう。区市町村で、抗体検査や予防接種費用を助成している場合があります。
- ✔ 熱がある時は、家庭や職場での妊婦との接触を避けましょう。



7 家庭で拡げないために

- ✔ 事前の予防接種が最も重要です。